

1

【さあ主にささげよう】

1.
 さあ主に捧げよう 感謝の 歌を
 さあ主に捧げよう 感謝の 歌を
 ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
 ハレルヤ ハレルヤ 主にささげよう

2.
 さあ主の御前で 喜び踊ろう
 さあ主の御前で 喜び 踊ろう
 ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
 ハレルヤ ハレルヤ 喜び踊ろう

【主の名を賛美しよう】

F C7/G F/A
 主の名を賛美しよう
 Dm7 G7 C7
 きよい手をあげ ともに
 F/C F/A Bb
 賛美されるべきお方
 Gm F/C Am Dsus4 D7
 さあ賛美しよう 賛美しよう
 Gm Bb/C F
 主の名を賛美しよう

主の前にひざまづき

主の前に ひざまづき
 心から賛美ささげる
 あなたはとこしえにわたしの神

【主は良いお方】

わがたましい主をたたえよ
 聖なる御名をほめたたえよ
 主の良くてくださったことを
 なにひとつ忘れるな

主は良いお方 主は良いお方
 恵みとあわれみの冠をもって
 私の一生 良いもので満たす
 主は良いお方 賛美を捧げます

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
 = 教員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
 = ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様がご一緒ですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number: 165 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

民数記6章22～27節

22 主はまたモーセに言われた、

23「アロンとその子たちに言いなさい、『あなたがたはイスラエルの人々を祝福してこのように言わなければならない。

24「願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

25 願わくは主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるように。

26 願わくは主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わるように』。

27 こうして彼らがイスラエルの人々のために、わたしの名を唱えるならば、わたしは彼らを祝福するであろう」。

“So they will put my name on the Israelites, and I will bless them.”

マタイによる福音書6章9節

だから、あなたがたはこう祈りなさい、

天にいますわれらの父よ、

御名があがめられますように。

ヨハネによる福音書17章11節

わたしはもうこの世にはいなくなりますが、彼らはこの世に残っており、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、**わたしに賜った御名によって彼らを守って下さい。**それはわたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためであります。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)



4

みことばの解説

民数記とは「イスラエルの民の思春期における、神様の再教育」であると前回お話ししました。私たちクリスチャンが、洗礼を受け、信仰をもって歩み始めてから、何を教えられ、どのような試練や訓練を通じてきたでしょうか。「荒野」とは、(1)道なき世界 (2)孤独の世界 (3)死の世界 と言います。歩むべき道を見失ったり、誰にも理解してもらえない寂しさに苦しんだり、これ以上前に進めないという不可能や挫折は、「荒野経験」です。

神様は、そんな現実の中に生きる私たちを教育し、成熟したキリスト者にしようとしてくださっています。そしてそのプロセスにおいても常に、祝福し、守り、御顔を照らし、恵みと平安をくださいます。それが神様の願いです(6の22-26)。

教育の一番初めは「神様が誰であるか」です。「願わくは【主】があなたを祝福し…」と書かれていますが、【主】とは何であり、誰であるかが知る必要がありました。イスラエルの民は、長年奴隷として扱われていたメンタリティ、とくに「支配者」「主人」=暴君といった間違ったMind(マインド)から解放され、正しい神様イメージを持つ必要があったのです。それは「祈り方」や「礼拝」を含め、彼らの生活のすべてに影響を及ぼすからです。

私たちは神様の名前のひとつとして【主】と呼びます。それは

יהוה

【ヤハウエ】というヘブル語(右上・右から読む)です。ヘブル語には母音がありませんから、聖四文字といって(英単語では)こう表記されます→【YHWH】。

十戒にある「主の名をみだりに唱えてはならない」を律儀に守り通したユダヤ人は「アドナイ」という言葉に置きかえて、【YHWH】の読み方が不明になってしまいました。しかし最新の研究でそれが「エホバ」ではなく「ヤハウエ」であったことが明らかにされています。

この名前に込められた神様の心に迫ります！